



梅雨入りして

梅雨らしいお天気が続きます。今日は晴れ間もありましたが…通学の時間帯は子供たちの傘が並びます。傘の分、少し間をとって歩く、近くの子にぶつからないように気を配る、ぶつかったら謝る、ぬかるみに気を付ける、傘の滴を払ってまとめて片付ける、など。子供たちは、毎日少しずつ様々なことを身に付けていきます。

低学年の子の中には、わざと水たまりに足を入れる子、傘をキノコにして水をためる子…もいます。これも大事な体験なのかも知れませんね。



ごめんなさい…

5月6日（土）二所ノ関部屋で見学会が行われました。大変な人気であつという間に定数いっぱいになりました。

事前に見学会の連絡を各学校から行うべきところ、本郷小学校からの連絡は遅れてしまい、応募〆切り後になってしまいました。保護者の皆さんにも、二所ノ関部屋にも迷惑をおかけしてしまい申し訳ありませんでした。親方は、地元を大切にしたいという思いを強くお持ちだそうです。今後、また機会を作っていただき、最寄りの小学校として協力していきたいと考えています。

新しい学級になって2か月が過ぎました。新たな人間関係が築かれています。だんだんと慣れてきて、少し強いもの言いになることもあり、お互いのちょっとした言葉や仕草が気になってくる時期でもあります。

ぜひ、お子さんとの会話を大事にして、気になることがありましたら、どうぞ学校へ連絡をください。一緒に考えていきましょう。

こんな詩を紹介します。

ひとつの言葉

ひとつの言葉でけんかして
ひとつの言葉で仲直り
ひとつの言葉で涙を流し
ひとつの言葉で笑いあう
ひとつの言葉で頭がさがり
ひとつの言葉でいがみあう
ひとつの言葉はそれぞれに
ひとつの心をもっている

何気ないひと言が人の心に響くことがあります。
言葉の伝え方、受け止め方によって、ひとつの
言葉の意味が変わってきてしまうのですね。
言葉、大切です。

